

mini DISCLOSURE

ミニディスクロージャー誌

第102期 営業のご報告



100th

ごあいさつ

平素より武蔵野銀行をご利用、お引き立ていただき誠にありがとうございます。

株主さまをはじめお取引先の皆さまに、当行に対するご理解を一層深めていただければと、2025年3月期の営業の概況等をわかりやすくお知らせする本冊子を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

地域経済は個人消費を中心に緩やかな回復が進んでまいりましたが、米国の通商・関税政策を巡り先行きには不透明感が生じています。

また、経済の持続的成長に向けましては、深刻化する人手不足に対応する生産性向上が大きな課題となっております。

このようななか、当行では長期ビジョン「MCP (Musashino mirai-Creation Plan) ～多彩な価値を結集し、地域No.1のソリューションで埼玉の未来を切り拓く～」の第一ステージである中期経営計画「MCP 1/3」のもと諸戦略の遂行に努めております。

企業の皆さまに寄り添い、円滑な資金供給と最適なコンサルティングを行う本業支援に注力するとともに、全てのお客さまの最善の利益を実現する業務運営にも引き続き全力で取り組んでおります。

また、デジタル化を一層加速させていくとともに、人的資本経営の高度化に努めております。

このほか、地域活性化やサステナビリティの分野でも、これまで蓄積してきたノウハウやネットワークを活用し積極的に取り組んでおります。

創業以来変わらぬ「地域共存」「顧客尊重」の経営理念のもと、地域になくてはならない銀行としての真価をこれまで以上に発揮し、全てのステークホルダーの皆さまとともに永続的发展を目指し、役職員一同精励してまいります。

皆さま方からの変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2025年6月

頭 取 長堀和正



武蔵野銀行について

経営理念

- 「地域共存」 豊かな地域社会の実現に寄与し、
地域とともに発展します。
- 「顧客尊重」 変化を先取りした果敢な経営を
展開し、組織を挙げて最良の
サービスを提供します。

ブランドメッセージ

More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために

プロフィール

名 称	株式会社 武蔵野銀行 The Musashino Bank,Ltd.
本店所在地	さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8
ホームページ	https://www.musashinobank.co.jp
設 立	1952年3月6日
ネットワーク	営業店舗数 100か店 (県内93 [うち出張所2]、県外7) 住宅ローンセンター 8か所
従業員数	1,889名
イメージ キャラクター	ポチャッコ

©2025 SANRIO CO., LTD.
APPROVAL NO. L655503



武蔵野銀行グループ

株式会社武蔵野銀行	連結子会社
	ぶぎん総合リース株式会社
	ぶぎん保証株式会社
	むさしのカード株式会社
	ぶぎんシステムサービス株式会社
	株式会社ぶぎん地域経済研究所
	株式会社ぶぎんキャピタル
	むさしのハーモニー株式会社
	むさしの未来パートナーズ株式会社

(2025年3月末現在)

武蔵野銀行のあゆみ

1952年 4月
資本金1億円、本店を大宮市
(現さいたま市)に置き8か店
で創業

1969年 10月
東証第二部に上場
(1970年8月東証第一部に上場)
(2022年4月東証プライム市場に移行)

2013年 1月
吉川支店開設により県内全市(40市)に
支店網確立

2016年 3月
千葉・武蔵野アライアンス締結

2019年 3月
TSUBASAアライアンスに参加

2021年 12月
本店ビルブランドオープン

2022年 6月
100%出資の地域商社
「むさしの未来パートナーズ」
設立によりグループ会社8社となる

2023年 3月
長期ビジョン「MCP～多彩な価値を結集し、地域No.1の
ソリューションで埼玉の未来を切り拓く～」を策定

2024年 7月
浜松町支店開設により全100か店となる



創業当時の本店



長期ビジョン「MCP」・中期経営計画「MCP 1/3」

長期ビジョン「MCP (Musashino mirai-Creation Plan)」

多彩な価値を結集し、
地域No.1のソリューションで埼玉の未来を切り拓く

実現に向けた『2つの基本方針』

基本方針Ⅰ ▶ 地域・お客さまの期待を超える存在へ

- 金融・非金融の両面からお客さまの暮らしや事業に深く入り込み、課題解決にコミットし続けることで、期待以上の価値を提供する
- 地域が潜在的に抱える課題の解決に貢献し、魅力ある地域の創造と成長を支援することで、豊かな未来を実現する

基本方針Ⅱ ▶ 組織・従業員の力を最大化

- 地域になくてはならない金融機関として、環境変化に対応できるレジリエンスの高い組織を構築する
- 全ての従業員が銀行グループで働く喜びを分かち合い、個々の能力を最大限発揮するため、高度な専門性や多様な働き方を提供する

ビジョン実現に向けた10年

第1ステージ(3年)

中期経営計画

「MCP 1/3(ワンサード)」

(2023年4月～2026年3月)

将来に向けた土台を築く

第2ステージ

次期中期経営計画

確固たる地位を確立する

最終ステージ

次々期中期経営計画

期待を超える存在となる

中期経営計画「MCP 1/3 (ワンサード)」 (2023年4月～2026年3月)

2つのテーマ

リアルとデジタルを融合し、地域・お客さまと共に歩む

あらゆる価値を認め合い、多彩な人材が躍動する

目指すビジネスモデル

デジタル・人的資本への投資を通じてサステナブルな経営基盤を構築するとともに、サービスレベル向上・顧客接点の増強によって、お客さま満足の最大化を目指していく

具体的戦略

営業推進態勢

法人戦略

個人戦略

地域活性化戦略

グループ戦略

チャネル戦略

デジタル戦略

人材戦略

有価証券戦略

アライアンス戦略

サステナビリティ
戦略

経営管理態勢

中期経営計画「MCP 1/3」の主な取組み

■法人のお客さまに向けた取組み



お客さまのことを深く理解し、専門性の高いソリューションを提案する態勢を構築しています。

- ・IT導入支援や人材紹介など、コンサルティングメニューの拡充
- ・円滑な事業承継やM&Aなど、お客さまの成長ステージに合わせたきめ細かな支援

■個人のお客さまに向けた取組み



お客さまの生涯に亘るパートナーとして、ライフステージに寄り添った提案に注力しています。

- ・住宅の購入やリフォーム、空き家の活用など、暮らしを応援するローン商品の取扱い
- ・長期安定的な資産形成に貢献する提案高度化
- ・相続・資産承継ニーズへの対応

■地域活性化戦略



自治体や大学、地元企業の皆さまと連携し、埼玉ならではの地域活性化に取り組んでいます。

- ・産学官金連携のプラットフォーム構築
- ・観光・シティプロモーションへの取組み強化
- ・地域資源の発掘・創造
- ・農業分野での実践的課題解決

■デジタル戦略



先進的なデジタル技術活用により、お客さま利便性の向上や銀行業務の生産性向上などにスピード感を持って取り組んでいます。

- ・スマホアプリの機能拡充
- ・法人向けデジタルサービスの強化
- ・お客さま接点の拡充と従業員のワークスタイル改革に向けたコミュニケーション基盤構築

■人的資本経営の実践



高い課題解決力を有するプロフェッショナル人材の育成や、ダイバーシティの取組みを進めています。

- ・ファイナンシャルプランナーやデジタル人材の育成
- ・従業員のリスクリング・エンゲージメント向上
- ・ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの実践

■アライアンス戦略

様々な分野での連携・協働を行っています。

千葉・武蔵野アライアンス

- ・相続関連業務
- ・共同拠点の設置 など



TSUBASAアライアンス

- ・キャッシュレス業務
- ・アプリ共同開発 など



サステナビリティへの取り組み

当行では、サステナビリティの視点を銀行経営に積極的に採り入れています。経営陣の積極的な関与のもと推進態勢強化を図りながら、持続可能な地域社会の実現に向けた取組みに注力しています。

武蔵野銀行SDGs宣言

SDGsの目標達成に貢献するため、グループ全役職員が取組むことを宣言します。

「持続的成長の源泉としての企業統治」

企業統治を持続的成長の源泉と位置づけ、創業以来不変の経営理念に基づく確固たる銀行経営を志向します。



「持続可能な地域経済」

地元産業のイノベーションや地産地消の促進、快適かつ強靱なまちづくりに貢献し、持続可能な経済成長を実現します。



「いつまでも自分らしく暮らせる地域社会」

全ての人々が自分らしく、健康で幸福に生活できる社会をつくるため、積極的な取組みを行います。



「気候変動への対応と生物多様性の維持向上」

地球規模の気候変動に対応するとともに、地域の豊かな生物多様性の維持向上に取組みます。



サステナビリティ基本方針等

気候変動や人権といったグローバルな課題や国内外の金融経済における脱炭素の動きに対応するとともに、より実効性あるサステナビリティ経営の実践を目指しています。

サステナビリティ基本方針

環境方針

投融资方針

人権方針

気候変動への対応

気候変動への取組みを重要な経営課題と位置づけ、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言を踏まえたガバナンスおよびリスク管理体制の構築や気候変動がもたらす機会とリスクの把握に努めています。また、温室効果ガス排出量削減およびサステナブルファイナンスに関する目標を定め開示しています。

温室効果ガス排出量削減

当行グループ全体のCO₂排出量について、2030年度には2013年度比70%削減することを目指し、本店および事務センターの全電力を再生可能エネルギーに切替えるなど、様々な取組みを行っています。



サステナブルファイナンス

地域の脱炭素化等に資する融資について、2021年度から2030年度までの10年間で累計1兆円の実行を目指しています。



TOPICS CO₂オフセットの取組み



2025年3月、「TSUBASAアライアンス」に参加の地方銀行10行で、CO₂をオフセットする「非化石証書」を共同購入しました。これにより、当行が排出する約100トン相当のCO₂をオフセットいたします。

非化石証書

発電時にCO₂を発生しない電源で発電された電力の「環境価値」部分を証書化したもので、電力使用によるCO₂の削減に利用できます。



お客さま本位の業務運営の実践

「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」のもと、お客さまの最善の利益の実現に向け取り組んでいます。

基本方針 ～お客さまの最善の利益の実現に向けて～

お客さまの最善の利益の実現に向け、ニーズやご意向をしっかりと把握し、良質な商品・サービスのご提供に継続的に取り組むことが、お客さまの長期資産形成、ひいては武蔵野銀行の成長にも繋がるものと考え、役職員一人ひとりが高い専門性と職業倫理をもって、誠実・公正な業務に努めてまいります。

1 お客さまにふさわしい商品・サービスの提供

金融商品の提案に当たり、お客さまのニーズを的確に捉え、商品のリスク・複雑性と販売すべきお客さまの属性に応じた、適切な商品選定に努めます。

また、お客さまにふさわしい商品やサービスをともに考えます。お客さまをよく知ることから始め、ニーズや目的をしっかりと伺いした上、お客さまの知識・投資経験・資産の状況等に照らし、適切な商品・サービスをご提案するよう心掛けます。

なお、商品の特性・リスク等を踏まえ、お客さまにふさわしいとは言えない可能性があるかと判断した場合には、ご提案を控えさせていただくこともございます。

3 手数料等の明確化

商品・サービスのご提供に際し、商品・サービスの開発や改善等の品質向上、各種情報のご提供、事務、インフラ関連等の費用を総合的に勘案し、手数料をいただいております。こうした手数料の分かりやすく丁寧な情報提供に努めます。

4 利益相反の適切な管理

お客さま本位の考えに立ち、利益相反を適切に管理してまいります。また、利益相反管理方針では対象とする利益相反の類型、利益相反のおそれのある取引とその特定方法、利益相反の管理方法、管理体制などを定めています。

2 重要な情報の分かりやすい提供

商品の特性・リスク・手数料や、経済環境・市場動向など、お客さまのご判断に役立つ情報を分かりやすく提供してまいります。

5 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

常にお客さま本位で考え行動するため、従業員に対し適切な動機づけを図り、取り組みの継続性・実効性を確保してまいります。長期的視点のもと、お客さま本位の営業活動を促す業績評価体系の整備に努めるとともに、職業倫理の向上に向けた研修等の充実に努めます。

品質向上委員会

頭取を委員長とする「品質向上委員会」を毎月開催し、金融商品販売に係るお客さま対応や苦情などについて、経営陣の積極的な関与のもと適時適切にモニタリングを行うとともに、必要な対策を迅速に実施していくことで、ガバナンスの強化を図っています。

TOPICS

高齢者の方々に一層寄り添ったサービス提供を目指して
～日本金融ジェロントロジー協会に入会しました～



当行は、2025年5月、日本金融ジェロントロジー協会に入会しました。高齢化社会のもと、加齢に伴う認知機能低下等が及ぼす影響が金融取引において課題となっております。同協会はこうした課題の解決に向け、科学的に裏付けられた金融ジェロントロジー*に立脚したサービスの普及・定着を目指している中立的な立場の一般社団法人です。

当行では、研修等を通じ同協会の認定資格取得を促進するなど、従業員の金融ジェロントロジーへの理解向上に取り組んでまいります。

* 金融ジェロントロジーとは長寿が経済活動などに与える影響を医学・経済学・心理学などから多面的に研究する学問のことです。

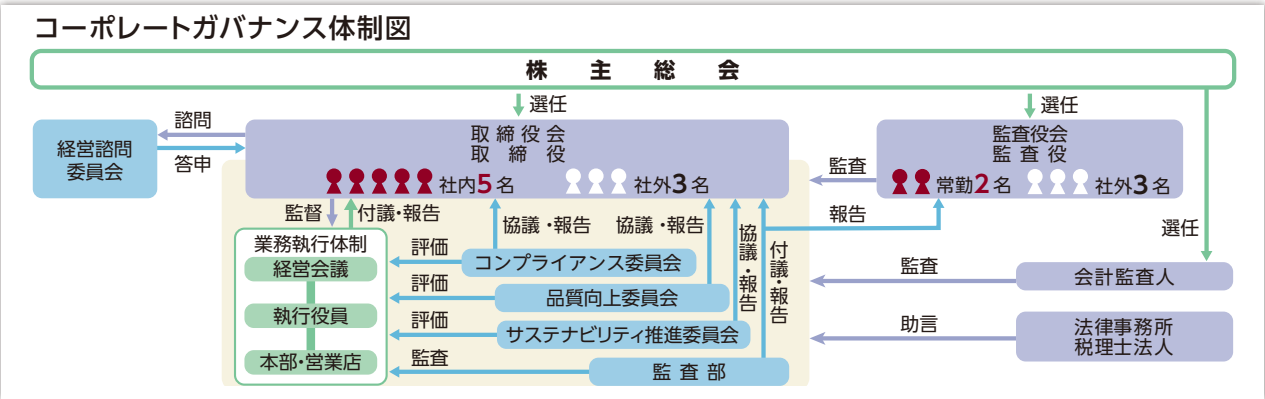
経営管理態勢の高度化に向けた取組み

コーポレートガバナンスの充実を持続的成長と企業価値向上に不可欠であるとの認識のもと、取組みを強化しています。あわせて、銀行に求められている社会的責任と公共的使命を果たすため、コンプライアンス(法令遵守)体制の強化に継続的に取り組んでいます。

コーポレートガバナンスの充実

コーポレートガバナンスの充実を経営の重要課題と認識し、法令や規程を遵守するとともに、取締役会及び監査役会において取締役の職務執行について厳正な監視を行っています。

豊かな知見と経験を有した社外取締役3名と社外監査役3名を選任し、取締役の職務執行に係るモニタリング・監査に加え、取締役会への出席等を通じ、透明性を保ちながら独立・中立の立場で幅広い視野から積極的に経営に関する意見表明・助言等を行うことで経営監視機能の客観性・中立性を確保しています。あわせて、取締役の任期を1年とすることで、経営環境の変化に即応できる体制構築を図っています。



コーポレートガバナンスに関する基本方針を開示しています

本基本方針に基づき、最良のコーポレートガバナンスの実現に向け、株主の皆さまとの建設的な対話や公平かつ適時・適切な情報開示などに努めております。

コンプライアンス(法令遵守)体制の強化

当行では、社会的責任と公共的使命を果たすため、コンプライアンスの徹底を経営の重要課題の一つと位置付け、経営陣自ら積極的に関与し、体制の整備や指導方法の確立など、体制強化に取り組んでいます。

今後につきましても、確固たる倫理観と誠実さを基本とした企業行動と、自己責任原則に則った経営姿勢を一段と強め、日常業務や自らの行動における法令や社会規範等の遵守を実践してまいります。

当行100%出資の地域商社「むさしの未来パートナーズ」では、これまでの銀行業務の枠組みを超えた非金融の取組みを通じ、地域の皆さまの課題や困りごとを解決し、経済および社会の活性化に貢献しています。

個人(アクティブシニア)支援事業 有料会員制サービス「彩・発見」



有料会員制サービス「彩・発見」では、アクティブシニアの方々をはじめとした高齢者の皆さまの日常生活における困りごとの解決や、暮らしを彩る体験の提供を行っています。

つかう

- ・家事代行や庭の手入れといった日常生活の困りごとを解決します。
- ・食事や趣味など暮らしを彩る体験を提供します。

安心・安全・お得なサービスが約1,100件

埼玉で
食を
楽しむ

生活を
豊かに

埼玉で
ショッピング

自分を
磨く

将来に
備える

もらえる

厳選した県内の逸品を年2回お届けします。



参加する

会員の皆さま向けのイベントを開催しています。

健康体操教室

スマートフォン
教室

健康マージャン
教室

フォトコンテスト

事業者向け商流支援事業

IBUSHIGIN
いぶしぎん

商流支援のプラットフォームとして購入型クラウドファンディングとECサイトを運営し、事業者の皆さまの商品やサービスの企画から開発、ブランディング、販売に至る伴走支援を行っています。

購入型クラウドファンディング「IBUSHIGIN(いぶしぎん)」

事業者と応援者を繋ぐプラットフォームとして、新商品・サービスのテストマーケティングやプロモーション、ファンづくりの機会を提供しています。毎月様々なプロジェクトを実施しています。



ECサイト「IBUSHIGIN公式ストア」

「IBUSHIGIN」で取扱いを行った人気の商品・サービスを通年販売するECサイトを運営しています。



カタログギフト「IBUSHIGINギフト ～多士彩々～」

「IBUSHIGIN公式ストア」の商品を厳選したカタログギフトをご用意しています。大切な方への贈答用にご利用いただけます。



マルシェイベントの開催

当行の農業プロジェクトで収穫した米・小麦を用いた商品や、県内の逸品を集めたマルシェを開催しています。



More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために

MORE FOR TOWN

事業者の皆さまの最良のパートナーとして

～多様な経営課題の解決と持続的な成長を応援～



人材紹介

お取引先企業の事業拡大や新たな事業展開などに貢献する最適な人材を紹介しています。



ビジネスマッチング

お取引先企業のニーズに、独自のネットワークを活かした最適なビジネスパートナーを紹介しています。



補助金の活用支援

生産性向上などに向けた公的補助金の活用に向け、事業計画の策定等をサポートしています。



様々な支援メニューをご用意しています

事業計画策定コンサルティング

経営環境の分析や、事業方針・戦略の策定、計画指標の設定などを支援します。

事業承継・M&A

後継者問題や事業の承継・多角化などのお悩みに専門機関と連携したサポートを行っています。

ES診断サービス

従業員の満足度（ES）を診断し、労働環境改善やエンゲージメント向上を支援します。

SDGsコンサルティング

SDGsの取組状況に応じたオーダーメイドのコンサルティングを実施します。

SDGs診断サポート

SDGsとその取組状況を見える化する「SDGs診断」を実施します。

脱炭素コンサルティング

CO₂排出量等の算定を行うとともにCO₂削減計画策定を支援します。

TOPICS

人事制度コンサルティング

～人的資本経営をサポート～

「等級制度」「賃金制度」「人事評価制度」「目標管理制度」など、1社1社の企業風土や事業や職種の特徴に適合する制度構築をオーダーメイドで支援します。



創業・新事業支援



独自の支援サービス

「むさしの創業支援融資」や「むさしの創業応援サービスパック」の提供を通じ、資金調達や業務効率化をサポートしています。



ファンドを通じた支援

「むさしの地域創生推進ファンド」や「埼玉県渋沢MIXイノベーション創出支援ファンド」による出資を通じ、ベンチャー企業やスタートアップ企業を中長期的に支援しています。



公的機関との連携

日本政策金融公庫とのセミナーや埼玉県よろず支援拠点との相談会を定期的に開催しています。

地域活性化に向けた取り組み

地域活性化に向け、自治体等と連携したさまざまな取り組みを行っています。

シティプロモーションの取り組み

関係人口や定住人口の拡大を通じた地域活性化に向け、移住をテーマとしたセミナーや、地域の魅力を発信するPR展などを開催しています。

地域の 魅力発信

本店ビルの地域創生スペース「M's SQUARE」では、特産品や観光情報など、県内市町村の多様な魅力を発信しています。



「大宮盆栽村100周年」記念展



加須市魅力PR展

地方公共団体との連携・協働

経済活性化や住民サービス向上に向けた連携を行っています。

包括協定の締結
埼玉県および17市町

TOPICS

茨城県五霞町と包括連携協定を締結しました

2025年4月に締結した本協定のもと、同町の観光振興、町民サービスの向上などに取組んでまいります。



同町のグルメ商品化に向け取組んでいます。

五霞町「シン・茨城あげそば」

新産業創造と農業の課題解決 ～「農」と「食」のプロジェクト～

さいたま市内等での米・小麦の生産や加工品開発など、「農」と「食」を基軸としたプロジェクトを展開しています。

むさしのアグリイノベーションプロジェクト

米づくりや加工品製造などに挑戦し、そこで得られるノウハウや知見を基に、県内農業を取り巻く地域課題の解決を目指していきます。



行員による田植え



むさしの米粉クッキー
～玄米のきずな～



純米吟醸酒
「むさしの」

見沼田んぼ「小麦」6次産業創造プロジェクト

見沼田んぼでの小麦の生産復活と新たな産業の創造に向け、事業者の方々や行政、教育機関と連携し、製品開発などに取組んでいます。



TOPICS

第75回全国植樹祭への 取り組み

5月25日に埼玉県で66年ぶりに開催された「第75回全国植樹祭」を記念し、様々な取組みを行いました。

- ・小鹿野町産ヒノキ端材をアップサイクルした「森のタンブラー」製品化
- ・本店ビルの地域創生スペース「M's SQUARE」でのPRイベント開催



More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために

MORE FOR
▶ LIFE

便利なサービスをいつでも、どこでもご利用いただけます

振込などのお取引がアプリで簡単に

武蔵野銀行アプリ

投資信託や外貨預金の取引を含め、主要な銀行手続きをスマートフォンで簡単にこなせます。

残高・入金明細照会

税金・料金支払

振込・振替

お知らせ通知

投資信託・NISA取引

外貨預金取引

ダウンロードは
こちらから



TOPICS

「むさしのLife」サービス開始

皆さまの「お金」と「暮らし」に関するお役立ち情報を配信するサービスを、「武蔵野銀行アプリ」をダウンロードいただくだけで無料でご利用いただけます。

トピック

- ・資産運用の基本
- ・かしこく学ぶお金のクイズ
- ・NISAとiDeCoの違い



ライフプラン



- ・各種シミュレーション
(ライフプラン・NISA・積立・相続・贈与)
- ・iDeCo加入者診断
- ・金融電卓



銀行へのご来店不要でお手続きが完了



インターネット専用口座
「Web Note」

スマートフォンやパソコンからお申込み可能な、通帳を発行しない預金口座です。

口座開設は
こちらから



無担保ローン

各種ローンについて、お申込からご契約まで、ご来店いただくことなく全てのお手続きが完了します。

マイカーローン

教育ローン

リフォームローン

フリーローン

多目的ローン

空き家活用ローン

誰もがデジタルの利便性を享受できる社会へ

大学・企業・自治体と連携し、当行店舗や公共施設で、デジタルデバイド^(注)の解消に向けたスマートフォン相談会を開催しています。

(注) デジタルデバイドとは、インターネット等情報通信技術を使うことのできる人とできない人の間に生じる「情報格差」をいいます。



スマホ教室 (新座市)



スマホよろず相談会 (熊谷市)

人生100年時代の資産づくりをサポート

お客さまの生涯に亘るパートナーとして、長期安定的な資産形成をサポートしています。

資産形成をサポートするラインナップ

投資信託

NISA

積立サービス

ファンドラップ

iDeCo

(個人型確定拠出年金)

生命保険

外貨預金

むさしのマネープラン

ご自身の資産形成に対する考え方や生活スタイルに合った運用方法が見つかるWEBサービスです。

アクセスは
こちらから



セミナーを通じたタイムリーな情報提供

幅広いお客さまの長期安定的な資産形成をサポートするセミナーを開催しています。



資産運用フェア2025inさいたま

マイホームを応援 ～住宅ローン～

お客さまのニーズに応じた住宅ローンプランをご用意しています。

環境配慮型住宅の購入支援

環境配慮型住宅を購入・新築されるお客さま向けのプランをご用意しています。

ライフステージに応じた住宅購入支援

産休・育休期間中でもお借入だけ、お子さま一人あたり最長2年間の「元金措置」がご利用できるプランをご用意しています。

充実の団体信用生命保険プラン

「がん団信」や「8疾病団信」のプランをお客さまのニーズに合わせてお選びいただけます。

NEW「連生がん団信」の取扱いを開始

「ペアローン」をご利用いただくお客さま向けのプランです。

次の世代へ想いを繋ぐ ～お客さまの大切な資産承継をお手伝い～

遺言信託・遺産整理業務

お客さまに代わり、相続に向けた各種お手続きをサポートします。

むさしの暦年贈与型信託 「贈る想い」

生前贈与を活用して大切な資産をご家族へ贈ることができます。

むさしの金銭信託 「つなぐ想い」

認知症や要介護認定など、サポートが必要になった場合の金銭の受取りをスムーズに行うことができます。

むさしの家族信託

認知症などで判断が難しくなった場合の財産管理や資産承継を総合的にサポートします。

むさしの後見制度支援信託

後見制度を利用されているお客さまの預貯金口座を安全・確実に管理します。



More For You

もっと、街・暮らし・笑顔のために

MORE FOR SMILE

豊かな生物多様性を次世代へ受け継ぐために

公益信託「武蔵野銀行みどりの基金」

自然環境保全・創出活動を行う事業に対し、30年以上に亘り活動資金を助成しています。2025年度は、19団体に総額292万円を助成しました。



1992年からの
助成実績

助成先

のべ383団体

助成金額

累計8,528万円

埼玉県生態系保護協会との連携

「生物多様性保全に関する包括連携協定」のもと、同協会の知見・ノウハウを活用し、従業員の環境教育や、お取引先企業や自治体への働きかけを行っています。



従業員向けサステナビリティ研修

地域のスポーツ振興

スポーツ振興に向け、地元チームを応援し、プレゼンツマッチや交流イベントを開催しています。



RB大宮アルディージャ



埼玉西武ライオンズ

「M's SQUARE」に応援ブースを設置しているほか、当行スペシャルゲームやプレゼンツマッチでオリジナルグッズの配布を行っています。



越谷アルファーズ

バスケットボールB.LEAGUEのB1で活躍する「越谷アルファーズ」を応援しています。

当行プレゼンツゲームでの特製Tシャツ



T.T.彩たま

卓球T.LEAGUEで活躍する「T.T.彩たま」を応援しています。

TOPICS



「埼玉上尾メディックス」を 応援しています

2024年12月にオフィシャルスポンサー契約を締結し、バレーボールを通じて地域活性化に取り組む「埼玉上尾メディックス」の活動をサポートしています。



金融経済教育の取組み ～むさしの未来アカデミー～

当行では、「全ての世代の皆さまに対する金融経済教育」をSDGs宣言に掲げ、金融経済リテラシー向上に資する取組みを拡充しています。

小中高生向けの取組み

銀行のお仕事体験

毎年夏に開催し、銀行業務の体験や営業店の見学を行っています。



各種ワークショップ

工作等の体験とコラボし、お金の役割・大切さを伝えるワークショップを開催しています。



金融経済・ビジネス教育講座

若手企業家の講演や、ビジネスを通じた地域課題解決をテーマとしたグループワークなどを行っています。



社会人向けの取組み

J-FLEC(金融経済教育推進機構)と連携したセミナーを通じて、ライフプラン・資産形成・資産運用のための情報提供を行っています。



社会人向けセミナー
「いま知っておきたいお金のこと」

子どもたちの笑顔と未来のために

子ども食堂の支援

未使用食品を寄贈する「フードドライブ運動」をはじめ、子ども食堂を様々な切り口からサポートしています。



子ども食堂の意義や魅力を伝える展示会



子ども食堂との「防災シンポジウム」

子育て世代の応援

行政や企業、支援団体等と連携・協働し、多様な切り口で子育て世代の応援に取組んでいます。

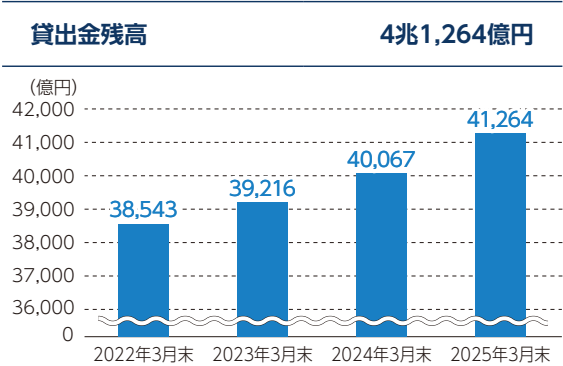


地元企業と連携した子育て世代応援イベント

業績ハイライト

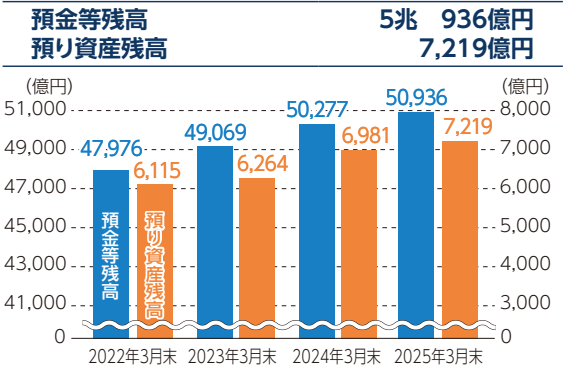
- 貸出金の状況
- 預金等・預り資産の状況
- 損益の状況
- 格付
- 不良債権比率
- 自己資本比率

貸出金の状況



貸出金残高は、県内企業及び個人のお客さまの資金繰り支援に積極的かつ迅速にお応えした結果、前年度末比1,197億円(年率2.9%)増加し、4兆1,264億円となりました。

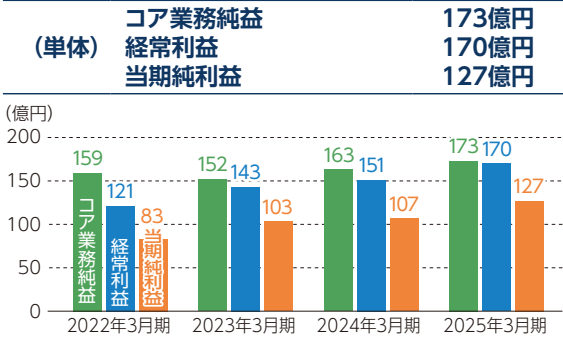
預金等・預り資産の状況



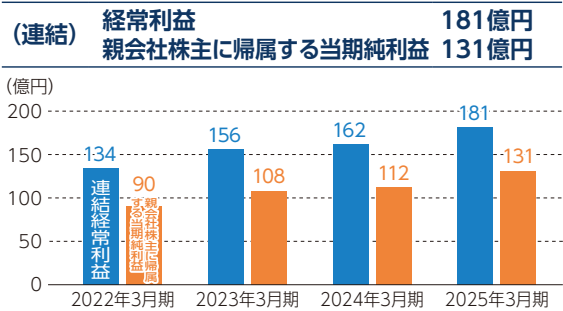
預金等残高は、前年度末比658億円(年率1.3%)増加し、5兆936億円となりました。
預り資産残高は、前年度末比237億円(年率3.4%)増加し、7,219億円となりました。

預金等……預金及び譲渡性預金。
預り資産……投資信託、生命保険、国債等の合計。投資信託は時価ベース残高。生命保険は有効契約残高。

損益の状況



コア業務純益は173億円、経常利益は170億円、当期純利益は127億円となりました。



連結経常利益は181億円、親会社株主に帰属する当期純利益は131億円となりました。

格付 (公表日:2025年2月28日)

株式会社日本格付研究所 「債務履行の確実性が高い」という投資適格の評価。

A+

不良債権比率

1.5%

自己資本比率

単体 12.64% 連結 13.27%

※本誌に掲載の計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しております。

貸借対照表

	(単位:百万円)		(単位:百万円)
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	161,208	預金	5,068,848
買入金銭債権	814	譲渡性預金	24,770
商品有価証券	3	コールマネー	42,613
金銭の信託	1,495	債券貸借取引受入担保金	13,013
有価証券	1,053,940	外国為替	344
貸出金	4,126,452	信託勘定借	7,893
外国為替	7,049	その他負債	24,755
その他資産	33,166	賞与引当金	1,178
有形固定資産	52,196	役員賞与引当金	21
無形固定資産	5,354	退職給付引当金	2,414
前払年金費用	11,182	睡眠預金払戻損失引当金	114
繰延税金資産	2,596	偶発損失引当金	232
支払承諾見返	5,141	株式報酬引当金	87
貸倒引当金	△ 12,790	再評価に係る繰延税金負債	4,352
		支払承諾	5,141
		負債の部合計	5,195,781
		(純資産の部)	
		資本金	45,743
		資本剰余金	38,351
		資本準備金	38,351
		その他資本剰余金	0
		利益剰余金	159,929
		利益準備金	10,087
		その他利益剰余金	149,842
		自己株式	△ 791
		株主資本合計	243,233
		その他有価証券評価差額金	△ 5,681
		繰延ヘッジ損益	6,307
		土地再評価差額金	8,161
		評価・換算差額等合計	8,787
		新株予約権	8
		純資産の部合計	252,029
資産の部合計	5,447,810	負債及び純資産の部合計	5,447,810

損益計算書

	(単位:百万円)
経常収益	71,540
資金運用収益	53,055
(うち貸出金利息)	39,943
(うち有価証券利息配当金)	12,614
信託報酬	14
役務取引等収益	14,926
その他業務収益	506
その他経常収益	3,036
経常費用	54,442
資金調達費用	7,134
(うち預金利息)	3,425
役務取引等費用	4,384
その他業務費用	5,888
営業経費	34,132
その他経常費用	2,902
経常利益	17,097
特別損失	18
税引前当期純利益	17,078
法人税、住民税及び事業税	3,840
法人税等調整額	469
法人税等合計	4,309
当期純利益	12,769

※本誌に掲載の計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しております。

連結貸借対照表

	(単位:百万円)
(資産の部)	
現金預け金	161,488
買入金銭債権	814
商品有価証券	3
金銭の信託	1,495
有価証券	1,055,356
貸出金	4,113,281
外国為替	7,049
リース債権及びリース投資資産	20,164
その他資産	50,272
有形固定資産	53,446
無形固定資産	5,396
退職給付に係る資産	13,903
繰延税金資産	2,450
支払承諾見返	5,141
貸倒引当金	△ 15,305
資産の部合計	5,474,957

	(単位:百万円)
(負債の部)	
預金	5,064,633
譲渡性預金	14,770
コールマネー及び売渡手形	42,613
債券貸借取引受入担保金	13,013
借入金	12,928
外国為替	344
信託勘定借	7,893
その他負債	36,408
賞与引当金	1,229
役員賞与引当金	36
退職給付に係る負債	2,331
役員退職慰労引当金	25
利息返還損失引当金	27
睡眠預金払戻損失引当金	114
ポイント引当金	117
偶発損失引当金	232
株式報酬引当金	87
繰延税金負債	684
再評価に係る繰延税金負債	4,352
支払承諾	5,141
負債の部合計	5,206,983
(純資産の部)	
資本金	45,743
資本剰余金	38,350
利益剰余金	172,537
自己株式	△ 791
株主資本合計	255,841
その他有価証券評価差額金	△ 4,362
繰延ヘッジ損益	6,307
土地再評価差額金	8,161
退職給付に係る調整累計額	1,971
その他の包括利益累計額合計	12,077
新株予約権	8
非支配株主持分	47
純資産の部合計	267,974
負債及び純資産の部合計	5,474,957

連結損益計算書

	(単位:百万円)
経常収益	84,084
資金運用収益	52,187
(うち貸出金利息)	39,938
(うち有価証券利息配当金)	11,745
信託報酬	14
役務取引等収益	15,610
その他業務収益	1,700
その他経常収益	14,571
経常費用	65,984
資金調達費用	7,194
(うち預金利息)	3,423
役務取引等費用	4,097
その他業務費用	5,888
営業経費	35,779
その他経常費用	13,023
経常利益	18,100
特別損失	18
税金等調整前当期純利益	18,081
法人税、住民税及び事業税	4,367
法人税等調整額	558
法人税等合計	4,926
当期純利益	13,155
非支配株主に帰属する当期純利益	8
親会社株主に帰属する当期純利益	13,146

連結包括利益計算書

	(単位:百万円)
当期純利益	13,155
その他の包括利益	△ 15,509
その他有価証券評価差額金	△ 18,423
繰延ヘッジ損益	4,541
退職給付に係る調整額	△ 1,503
土地再評価差額金	△ 124
包括利益	△ 2,354
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	△ 2,363
非支配株主に係る包括利益	8

株式のご案内

【事業年度】	毎年4月1日から翌年3月31日まで
【定時株主総会】	毎年6月に開催
【基準日】	定時株主総会の議決権の基準日は毎年3月31日
【公告の方法】	電子公告といたします。

【株主名簿管理人及び特別口座管理機関】

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
[連絡先]三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1番1号 0120-232-711(通話料無料)
[郵送先]〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式の所有者別状況 (2025年3月末現在)

区 分	株式の状況 (1単元の株式数100株)							単元未満株式の状況(株)
	政府及び地方公共団体	金融機関	金融商品取引業者	その他の法人	外国法人等個人以外	個人その他個人	計	
株主数(人)	—	32	29	796	160	3	7,659	8,679
所有株式数(単元)	—	122,530	7,143	75,328	58,211	3	69,359	332,574
所有株式数の割合(%)	—	36.84	2.15	22.65	17.50	0.00	20.86	100.00

株式の状況等 (2025年3月末現在)

発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式の総数	33,405,456株
うち自己株式	263,713株
株主数	13,190名
単元株式数	100株

- (注) 1. 自己株式263,713株は「個人その他」に2,637単元、「単元未満株式の状況」に13株含まれております。
2. 「その他の法人」には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が14単元含まれております。
3. 「金融機関」及び「単元未満株式の状況」には、役員報酬BIP信託に係る信託口が保有する当行株式が、それぞれ607単元及び48株含まれております。

大株主の状況 (2025年3月末現在)

(千株・%)

株 主 名	当行への出資状況	
	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,231	12.76
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,603	7.85
株式会社千葉銀行	925	2.79
QRファンド投資事業有限責任組合 無限責任組合員 株式会社QRインベストメント	914	2.75
明治安田生命保険相互会社	735	2.22
住友生命保険相互会社	702	2.12
武蔵野銀行従業員持株会	698	2.10
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505223 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	673	2.03
前田硝子株式会社	605	1.82
日本生命保険相互会社	507	1.53

- (注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は自己株式(263千株)を控除して算出し、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。なお、自己株式には、役員報酬BIP信託に係る信託口が保有する当行株式(60千株)は含まれておりません。

株主さま・投資家の皆さまとのコミュニケーション

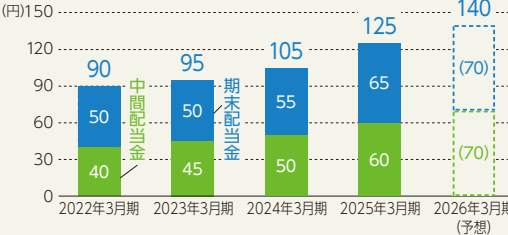
当行では株主さま・投資家の皆さまとのコミュニケーションを重視する方針のもと、定時株主総会のほか、機関投資家・アナリスト・個人投資家の皆さまを対象とする会社説明会等を開催しております。なお、定時株主総会の開催にあたり、以下の点を実施しております。

- ・ 招集通知の早期発送
- ・ 招集通知(英訳含む)の当行ホームページ掲載
- ・ 議決権行使について書面及び電磁的方法の導入(QRコードを用いた議決権行使等)
- ・ 株主総会動画の事後配信

配当金のお知らせ

2025年3月期の1株当たり期末配当金は10円増額し65円とさせていただきます。これにより年間配当金は1株当たり125円になりました。

配当の状況



配当政策につきましては、利益の成長とともに累進的な配当を目指しております。こうした方針のもと、2026年3月期の配当予想については15円増額の140円とさせていただきます。

ホームページにて株主・投資家向け情報をご案内しております。

<https://www.musashinobank.co.jp/irinfo/>



いつもお客さまのそばに

店舗のご案内

- …営業店
- …住宅ローンセンター
- ▲…オフィス

埼玉県内 **93**か店
東京都 **6**か店
茨城県 **1**か店
計 **100**か店

店舗外ATM
埼玉県 **106**か所
東京都 **1**か所
茨城県 **1**か所
(2025年5月末現在)

詳しくは
こちらから



地域創生スペース ～M's SQUARE～

本店ビル2階にある「M's SQUARE」は、埼玉県の魅力などを発信するイベントスペースやコワーキングスペース、カフェなどを併設しています。



イベント



セミナー



コワーキング



カフェ

営業時間
などの情報は
こちらから



表紙について

名品盆栽の聖地「大宮盆栽村」(さいたま市北区盆栽町)が開村100周年を迎えることを記念し、世界初の公立盆栽美術館として同地域に根付いた盆栽の魅力を広く発信している「さいたま市大宮盆栽美術館」を採り上げました。当行では、本店「M's SQUARE」での記念展開催など大宮盆栽村開村100周年を地域一体で盛り上げています。(協力:さいたま市大宮盆栽美術館)

武蔵野銀行

ホームページ <https://www.musashinobank.co.jp>
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8
TEL.048-641-6111(代)

発行/2025年6月 編集/武蔵野銀行 総企画部 広報・CSRグループ

本冊子に掲載しております商品・サービス等の詳細につきましてはお近くの営業店窓口へお問い合わせください。



この冊子は、適切に管理されたFSC®
認証林からの原材料および、再生資源
やその他の管理された原材料から
作られた、環境配慮型のFSC®認証
紙を使用しています。



この印刷製品は、環境
に配慮した資材と工場
で製造されています。

石油系溶剤を使わ
ないインキを使用
し、環境や健康に
配慮しています。



見やすいユニバー
サルデザインフォ
ントを採用しています。